

8月になりました。

この8月9日大正15年8月9日生まれの父が迎えて94歳を迎えました。

杉並区で約90年ほど暮らしているようです。(ちょっとあやふや)

身体能力的には補聴器を使って電話が聞こえないという不便さ以外自立を妨げる状況ではありません

我が家から歩いて30分(自転車は基本禁止しているので…でも隠れて乗っているらしいです)

コロナ禍ではありますが、来年またこの日を迎えられる確率とコロナウイルス罹患させる確率と

天秤にかけた所、来年迎える方が難しいと判断。

よって、私の自宅に招き3人で彼のリクエストの「水餃子」で食事をする事となりました。

「みんなに会いたいだろうけど呼ばないからね」と伝えると「コロナだからな」と少し残念そうに一言

彼の家に日時を伝えに行った帰り道…自分の雑感おもいだしました

新しい生活様式に適應していくって私思ったじゃない！

21世紀の高齢者はこんなことでやりたい事をあきらめないんだ！

皆さんにも宣言したじゃない！**頑張れ私！**

ということで zoomによるお誕生会開催を皆に連絡。即OKの返事。

餃子包みの前からPCに立ち向かいますが…

うまくいきません。なんで？？？

相方も手伝って(餃子を包む方)をくれますが、結局予定時間に間に合わず断念

スマホのラインに変更です。敗北感を持ちつつもスマホのライン動画をONにすると

小さな画面いっぱい顔・顔・顔。ピースする昭和の妹にその子どもたち

身重の孫は突き出たお腹を見せ、さする青い目の夫は「おめでたいいっぱい！いっぱいです」と満面の笑み

「じ〜じ〜だよ？と言いながら、2歳のひ孫におめでとと言わせようと頑張る嫁

シェアハウスのリビングにカメラを向け住人達に「おめでとうございます」の大合唱をさせる孫まで登場

東京オリンピックまで頑張るといっていたよね。オリンピック来年だからね。と最後の一言絶叫する者



ラインを切り、一瞬の静寂に「俺生き残っちゃって…長生きし過ぎたと思うけど…もう少しいかもな」と父
きつと彼の脳裏には亡くなった母。兄弟友人たちとのいろんな事が浮かんだのかもしれない。

生きている事が重荷になっている人が増えている今。

何か少しでも心が軽くなることを見つけなければ…毎日伝えられる人数を溜息交じりに聞き入っても

すぐに状況を変えられるわけではないようです。

そんな時に少しでもお役にたてればとゆうゆう館は開館しています。

できる限りの対策をして体は離れても心を寄り添う努力をしています。

虹のステッカーは貼っていませんが、ご来場いただければ

小さな虹がみえるかも

心配は尽きません。万が一もあり得ます。

それでもそれでもできることをしていきたいと思えます

どうぞどうぞ！とは言えませんがお待ちしている者たちがここにいること

忘れないでくださいね。

なんて考えながら残暑見舞いの発送準備をしている

8月お盆の入りです。

追伸 偶然父と同じお誕生日だと知った方へ 遅ればせながら



Happy Birthday !